

定 期 作 況 報 告

平成19年 9 月
(9 月 20 日 現 在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

8月下旬：最高気温は平年より極めて高く、最低気温は平年よりやや低く、一日の較差が大きかった。平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年より少なかった（平年比1%）。日照時間は平年より多かった（平年比146%）。

9月上旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並みであった。降水量は平年より著しく多かった（平年比240%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比63%）。

9月中旬：最高気温は平年並み、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年よりやや少なかった（平年比73%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比64%）。

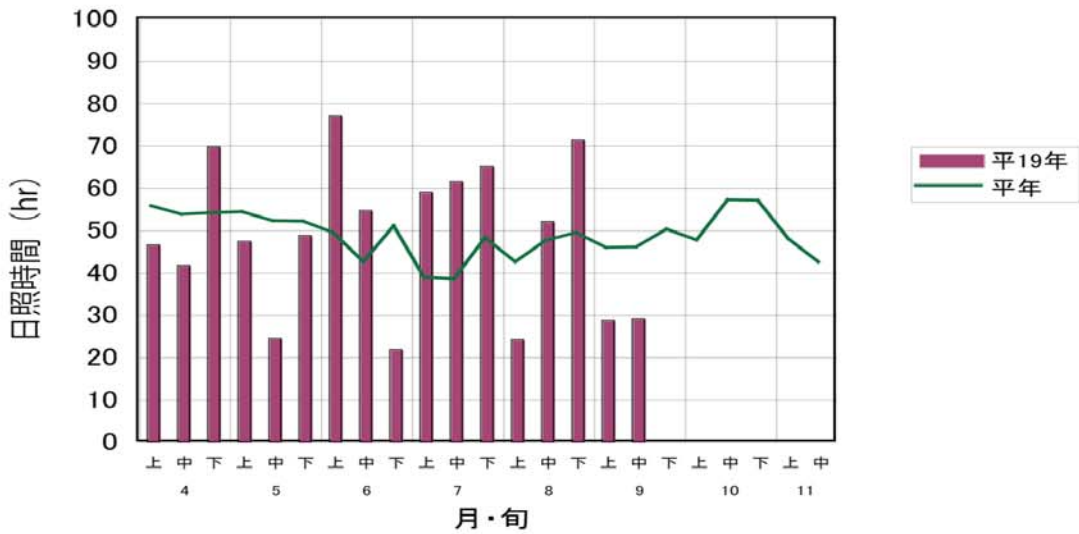
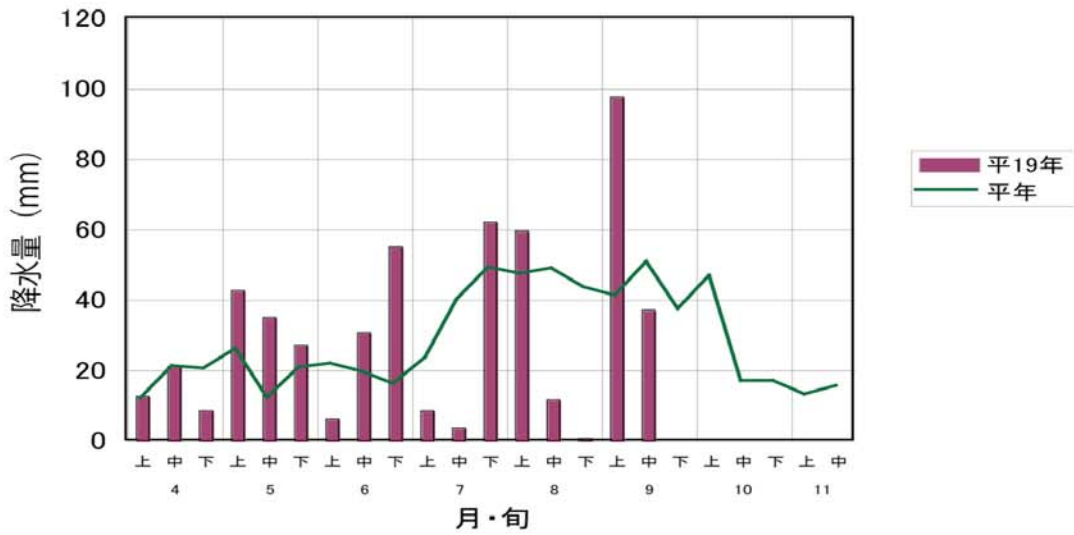
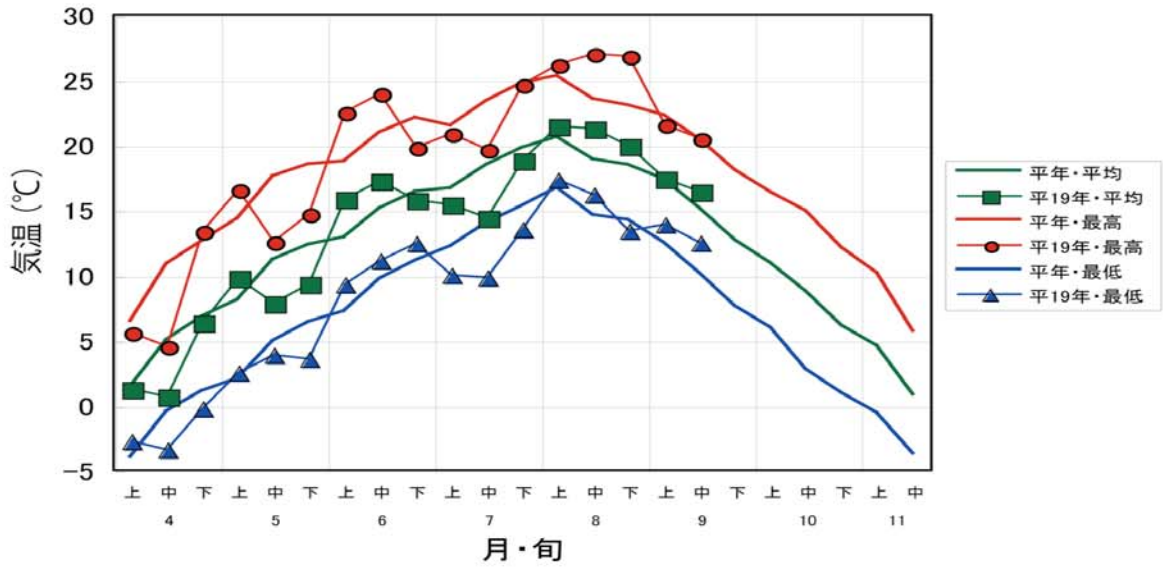
以上のことから、この1か月間（8月下旬9月中旬）は、気温は平年よりやや高く、降水量は平年並み、日照時間は平年並みであった。

注) 降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

項目 月旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月下旬	19.9	18.4	1.5	26.9	23.0	3.9	13.4	14.2	△0.8
9月上旬	17.4	17.3	0.1	21.6	22.3	△0.7	13.9	12.5	1.4
9月中旬	16.4	15.1	1.3	20.5	20.4	0.1	12.5	10.1	2.4
平均	18.0	17.0	1.0	23.1	21.9	1.2	13.3	12.3	1.0

項目 月旬	降水量 (mm)			日照時間 (h)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月下旬	0.5	43.1	△42.6	71.3	48.9	22.4
9月上旬	97.5	40.7	56.8	28.6	45.4	△16.8
9月中旬	37.0	50.4	△13.4	29.0	45.4	△16.4
合計	135.0	134.2	0.8	128.9	139.7	△10.8

- 注) 1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。
2) 平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) 春まき小麦 作 況：平年並

事 由：生育量は旺盛であったが、倒伏の発生と8月中旬の著しい高温条件により、一穂粒数および子実の充実が不足となった。このため、リットル重、千粒重は平年を下回り、子実重は平年並となった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
子実重(kg/10a)	409	402	7	438	433	5
同上平年比(%)	102	100	2	101	100	1
リットル重(g)	787	817	△ 30	792	821	△ 29
千粒重(g)	38.4	42.0	△ 3.6	39.5	42.9	△ 3.4

注) 「ハルユタカ」の平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、平成18年(最豊)を除く5か年平均。「春よ恋」の平年値は前6か年中、平成14年(最凶)、平成18年(最豊)を除く4か年の平均。

2) とうもろこし 作 況：平年並

事 由：9月20日測定 of 稈長は平年よりやや高かったが、7月上中旬の低温で絹糸抽出期が遅れたこと、および8月20日測定 of 葉数が平年並であったことから、登熟は平年並で進んでいると考えられる。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
稈長(cm) (9月20日)	277	261	16

注) 平年値は前3か年の平均(供試品種が変更されたため)。

3) 大豆

作 況：平年並

事 由：8月下旬以降の平均気温は平年並～やや高く推移し、成熟に伴う葉の黄化が始まった。主茎長、主茎節数および分枝数は、平年並～やや上回っている。着莢数は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	トヨコマチ			ユキホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
主茎長(cm) (9月20日)	65.0	58.8	6.2	56.8	57.7	△ 0.9
主茎節数 (9月20日)	11.9	11.1	0.8	10.4	10.9	△ 0.5
分枝数(本/株) (9月20日)	5.9	5.5	0.4	5.8	4.8	1.0
着莢数(個/株) (9月20日)	61.3	64.5	△ 3.2	71.0	67.7	3.3

注) 平年値は前7か年中、平成13年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均。

4) 小豆

作 況：平年並

事 由：8月下旬以降の平均気温は平年並～やや高く推移したため、「サホロショウズ」は平年より7日早い9月15日に成熟期に達した。主茎節数は概ね平年並、主茎長および分枝数は平年を上回っている。着莢数は「エリモショウズ」は平年よりやや少ないが、「サホロショウズ」はやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	エリモショウズ			サホロショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月・日)		10.1		9.15	9.22	△ 7
主茎長(cm) (9月20日)	71.5	61.9	9.6	73.4	47.5	25.9
主茎長(cm) (成熟期)		61.9		73.4	47.5	25.9
主茎節数 (9月20日)	13.1	13.6	△ 0.5	12.4	11.1	1.3
主茎節数 (成熟期)		13.6		12.4	11.1	1.3
分枝数(本/株) (9月20日)	5.9	3.5	2.4	5.5	3.8	1.7
分枝数(本/株) (成熟期)		3.6		5.5	3.8	1.7
着莢数(個/株) (9月20日)	41.9	47.3	△ 5.4	56.1	47.0	9.1
着莢数(個/株) (成熟期)		48.7		56.1	48.0	8.1

注) 平年値は前8か年中、平成11年(最凶)、18年(最豊)および試験を中止した12年を除く5か年の平均。

5) 菜豆

作 況：平年並

事 由：平均気温が8月下旬はやや高く、9月上旬は平年並に推移し、成熟期は「大正金時」が平年より1日早い9月3日、「福勝」が2日遅い9月10日であった。両品種共に草丈および主茎節数は平年並、着莢数は「大正金時」はやや上回っているが、「福勝」は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時			福勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
成熟期 (月・日)	9.3	9.4	△ 1	9.10	9.8	2	
草丈(cm)	(9月20日)	41.3	41.1	0.2	45.5	43.0	2.5
	(成熟期)	41.3	41.1	0.2	45.5	43.0	2.5
主茎節数	(9月20日)	5.4	5.4	0.0	5.4	5.7	△ 0.3
	(成熟期)	5.4	5.4	0.0	5.4	5.7	△ 0.3
分枝数(本/株)	(9月20日)	4.9	4.2	0.7	5.0	4.0	1.0
	(成熟期)	4.9	4.2	0.7	5.0	4.0	1.0
着莢数(個/株)	(9月20日)	23.3	20.2	3.1	19.7	18.7	1.0
	(成熟期)	23.3	20.2	3.1	19.7	18.7	1.0

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年の平均。

6) ばれいしょ

作 況：やや良

事由：「男爵薯」の枯凋期は平年より4日早い9月2日であった。上いも重は、「男爵薯」ではほぼ平年並であったが、「コナフブキ」では、9月上旬に十分な降水があったことと、9月に入ってから塊茎肥大に適切な気温になったことから平年を大幅に上回った。でん粉価は、「男爵薯」が平年をやや上回ったが、「コナフブキ」は9月上旬の降水以降、土壌が湿潤な状態が続いたことから、平年より1.5ポイント下回った。しかしながら、「コナフブキ」のでん粉重は、上いも重が多かったことから、平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯凋期 (月.日)	9.2	9.6	△ 4		10.7	
上いも重(kg/10a) (9月20日)	-	-	-	5238	4313	276
でん粉価(%) (9月20日)	-	-	-	21.7	23.2	△1.5
でん粉重(kg/10a) (9月20日)	-	-	-	1083	956	127
上いも数(個/株)	8.6	9.1	△ 0.5		9.2	
上いも1個重(g)	110	100	10		115	
上いも重(kg/10a)	4183	4105	78		4748	
同上平年比(%)	102	100	2		100	
でん粉価(%)	16.5	16.1	0.4		23.3	

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」は平成15年(最凶)、17年(最豊)を、「コナフブキ」は平成15年(最凶)、18年(最豊)を除く5か年の平均。

7) てんさい

作 況：平年並

事 由：移植栽培、直播栽培ともに前節に続いて地上部の生育は旺盛である。地下部は9月上旬の多雨で急激に肥大し、平年を上回っている。しかし、9月以降、降雨と高夜温が続いたため、糖分は平年を大きく下回っている。また、褐斑病の発生もやや多い。

以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (9月20日)	69.8	64.6	5.2	63.2	60.0	3.2	69.4	65.0	4.4
生葉数(枚) (9月20日)	32.5	30.9	1.6	27.9	29.4	△ 1.5	27.2	28.6	△ 1.4
茎葉重(g/個体) (9月20日)	1079	956	123	1052	957	95	1024	827	197
根重(g/個体) (9月20日)	951	856	95	976	882	94	828	715	113
根周(cm) (9月20日)	34.3	32.8	1.5	35.9	34.7	1.2	32.3	30.1	2.2
根中糖分(%) (9月20日)	13.75	15.39	△ 1.64	13.97	15.26	△ 1.29	13.67	14.86	△ 1.19

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成12年(最凶)および17年(最豊)、移植「アーベント」は平成12年(最凶)および16年(最豊)、直播「モノホマレ」は平成14年(最凶)および16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

8) 牧 草

作 況：不良

事 由：9月2日測定の3番草再生時の草丈は平年並であったが、1～2番草の合計乾物収量は平年比82%と低収であり、3番草収量で前番草までの低収分を補うには至らないと考えられる。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
草丈(cm)	3番草再生時	42	42	0

注) 平年値は前5か年の平均(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

9) たまねぎ

作 況：やや良（参考）

事 由：「改良オホーツク1号」は平年より5日早い8月29日に収穫した。平均一球重と総収量は平年を大きく上回ったが、変形球と分球の発生が多く、規格内収量は平年対比で12%上回るにとどまった。「スーパー北もみじ」は9月6日に根切り処理を行い、平年より4日遅い9月18日に収穫した。平均一球重は平年を上回ったが、肌腐症状等の激発(約15%)により総収量はほぼ平年並となった。また、変形球と分球の発生がやや多かったために規格内率は平年より下がり、規格内収量は平年対比で4%下回った。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯葉期 (月.日)	8.27	8.25	2	9.15	9.8	7
収穫期 (月.日)	8.29	9.3	△5	9.18	9.14	4
総収量(kg/10a)	9507	6671	2836	8228	8105	123
規格内収量(kg/10a)	6680	5969	711	6590	6862	△272
同上平年比(%)	112	100	12	96	100	△4
規格内率(%)	70	90	△20	75	84	△9
平均一球重(g)	332	212	120	312	257	55

注) 平成15年に圃場を変更したため、平年値は平成15年から平成18年までの4カ年の平均。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反覆	前作物	畦幅 cm	株間 cm	一株 本数	播種粒数 粒/㎡	播種量 kg/10a	株数 株/10a
1. 秋まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340(255)	-	-
2. 春まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340	-	-
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	-	-	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	とうもろこし	75.0	30.0	1	-	-	4,444
8. てんさい	100	3	ばれいしょ	60.0	23.8	1	-	-	7,003
9. チモシー	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	-	-	2.0	-
10. たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	-	-	31,750

注) 秋まき小麦の播種粒数欄の () は「ホクシン」の播種粒数を示す。

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	6+3	20.0	9.6	4.0			
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0			
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル:100	
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0			
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0			
6. 菜豆	4.0	16.0	9.3	3.3			
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0			
8. てんさい	15.0	21.3	13.8	5.0			
9. チモシー	15.0	15.0	15.0	2.3			2年目草地
10. たまねぎ	15.0	31.0	15.0	2.8	2,000		